

Back to おがわがかり No.101

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー

町の情報が
豊富です!

まさき ゆりこ
真崎百合子さん
(前高谷)

MASAKI Yuriko



前号の議会だより(No.101)で「読んでよかった」と思ったのは、どの記事でしたか?

「特集新型コロナウイルス対策事業」です。事業に関する費用が見やすく掲載されており、町民支援や地域経済回復のため、効果的に使われていることが分かりました。コロナ禍の不安を少しでも払拭できるようこれからも私たち町民の暮らしを、支えて欲しいと思います。

—議会だよりへ「ひとこと」!

私たち町民の生活をより良くするためにたくさんの方の議論がなされていることが読み取れます。前号の表紙は小川和紙「雲龍紙」を使った見開きとなっており、親しみやすく魅力的でした。

真崎さんイチオシの記事はP.2~の「特集」



Gikai's comment 毎号特集ページには力を入れています。次号もご期待ください!

わたしのコメント

町民の声、「聞きます×つなぎます」

だから 小川が好き!

町への想いを寄稿していただくコーナー

本当の自分に
かえ
還れるところ

かのうあやこ
狩野亜矢子さん
(大塚三)

KANOY Ayako

10年前にこの町に引っ越してきた頃、住んでいる地区の方々が親身になって接して



くださり、そして皆さんがいつも自然体で生き生きとしている姿に、ふと「ああ、自分ももっと自由に生きていいんだ」と感じたことを覚えています。最近は移住してくる方が増えていますが、その方たちもとても生き生きと、ご自分のやりたいことを思い切り楽しんでいるという印象があります。

おそらくこの町は、すべてのものを受け容れてくれる優しい安心感があって、住む人々を本来の姿に立ちかえらせてくれるのではないかと思います。かつて多くの人やモノが行き交った小川町。先人たちが築いた広く大きな度量は、今なお受け継がれているのかもしれない。

次の定例会は

3月1日(火)~

午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会ホームページへ



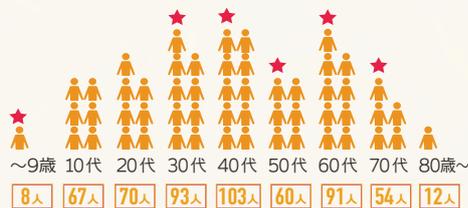
議員の

議員がインタビューした町民皆さんの数

聴く×つなぐ 558人

(★印は今号取材)

※No.80以降の合計人数



お知らせ「議員辞職・町議会議員補欠選挙」

戸口勝議員から、令和3年12月10日付けで議長宛に辞職願が提出され、許可されました。このことによる町議会議員の欠員に伴う補欠選挙については、5月22日に行われる小川町長選挙と同日に実施されます。



●今号の表紙●

絆はいつまでも

39年間の歴史に幕を閉じる。

記念すべき6年生たちの笑顔

「東小川小学校 39サンキュー!!」

編集後記 新年の声とともに、「オミクロン」という新顔が猛威を振っている。2022年も新型コロナウイルスとの戦いが続く。2年間のコロナ対応の成果と課題を整理し、冷静に効果的に対策を講じていきたい。4月に始動する「可燃ごみ処理」と「学校再編」を特集した。未来志向で前に進もう。(高橋)

発行責任者：小川町議会 議長 山口勝士

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 田中照子

委員 高瀬 勉・島田康弘・笹本孝幸・五十嵐康博



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています